

令和元年度飯山市美術館運営協議会（第1回）

日時 令和元年6月7日（金）15:30～

場所 飯山市公民館 101 会議室

1 開 会

2 辞令交付

3 あいさつ
・教育長

4 自己紹介

5 会長選出

会長 _____ 会長職務代理 _____

6 会長、会長職務代理あいさつ

7 協議事項

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 令和元年度事業計画について

(3) 令和2年度以降の企画展等の予定について

(4) その他

8 その他

9 閉 会

○飯山市美術館運営協議会規則

平成9年3月21日教育委員会規則第3号

改正

平成18年2月20日教委規則第1号

平成20年3月24日教委規則第2号

平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例(昭和57年飯山市条例第22号)第19条に定める飯山市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年2月20日教委規則第1号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月24日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和元年度飯山市美術館運営協議会委員名簿

美術館運営協議会委員（敬称略）

	氏 名	備考（推薦団体等）
1	吉越 隆師	飯山市芸術文化協会
2	千坂 経悦	飯山市高校美術科担当者
3	上海 一徳	飯山仏壇事業協同組合
4	高山 顕光	校長会
5	廣 靖彦	有識者
6	森崎 鉄兵	社会教育委員
7	阿部 拓也	内山紙協同組合
8	丸山 公人	飯山市芸術文化協会

教育委員会関係者

1	教育長	長瀬 哲
2	文化振興部長	常田 新司
3	文化交流課長（兼）美術館長	佐藤 千明
4	美術館係長	井端 伸介
5	臨時職員	木村 友子
6	臨時職員	小林 隆子

平成30年度事業報告(飯山市美術館)

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	常設展示(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。美術館収蔵品60～70点を展示した。	H30.4.1～ H30.8.26	入場者数: 1,435人
	常設展示(後期) ※資料P1参照	美術館収蔵品60～70点を展示。後期は、2階ギャラリーに「岩上隆静千曲川シリーズ展示コーナー」を設けた。	H30.11.10～ H31.3.31	入場者数:515人
ギャラリー展	「学校にある作品あれこれ展」開催 ※資料P1参照	市内小中学校と高等学校等を合せて11校が所蔵する美術作品36点を借用展示。展示作品は、長谷川青澄の日本画や佐藤武造の漆絵をはじめ、油絵、彫刻、絵手紙、人形など。普段は学校にあることから、関係者以外の目に触れることのない作品を紹介することが出来た。	会期:7/7～8/19 開館日数:38日 会場:ロビー・2階ギャラリー	入場者数:587名
	佐久間雲窓展 ※資料P1参照	江戸後期から明治時代中期に活動した郷土の画家・佐久間雲窓の屏風絵を紹介する展覧会。市内個人から六曲一雙屏風を4点を借用展示予定。	会期:3/2～4/7 開館日数:32日 会場:ロビー・2階ギャラリー	入場者数:351名
企画展	「米林雄一展 宇宙への眼差し」開催 ※資料P1～P2、P3～5参照	小布施にアトリエ兼ギャラリーを構える東京藝術大学名誉教授・米林雄一氏(1942～、東京都出身)の彫刻展を開催。展示作品及び資料は、「宇宙」をテーマとした大小の抽象彫刻や創作の原点とも言えるエスキース(アイデアスケッチ)のほか、米林氏の提案で行われたJAXAの宇宙実験で、実際に宇宙飛行士が宇宙空間でモデリングした人型などを写真資料などと併せて展示した。また、城南城北中学校美術部と連携し、米林氏を講師とした鑑賞ワークショップを開催。子どもたちと一流の芸術家が交流できる場を設けた。その他、期間中、学びのエリア館秋まつり(9/29・30)の催しとして、米林雄一展の作品を見て答える「クイズ・答えは作品の中」を実施。	会期:9/1～11/4 開館日数:56日 会場:展示室・ロビー・2階ギャラリー 鑑賞ワークショップ 11/3 9:00～12:00 参加人数:生徒10名、顧問2名	入場者数: 2,124名 ※学びのエリア館秋まつり2日間の無料入館者数(約900人)含む
美術教室等	ワークショップ 「土から作った絵具で絵を描こう！」 ※資料P2参照	郷土の和紙や土を使った造形教室を開催。身近な石や野菜に土から作った絵具を塗り、和紙にスタンプする技法で絵画制作を行った。(公民館夏休み体験教室)	実施日:7/28 会場:公民館103	参加者数:6名
	ワークショップ 「ぬって!おして!土!?ランプシェード」 ※資料P2参照	和紙に飯山の土から作った絵具で、野菜のスタンプを押してランプシェードをつくる。(公民館春休み体験教室)	実施予定日:3/18 会場:公民館103	参加者数:12名
	美術講座	講師:長野県信濃美術館・松本透館長 テーマ:抽象の開拓者 W. カンディンスキーを巡る旅 内容:抽象絵画の先駆者であり理論家でもあるカンディンスキーの生涯や絵画表現について解説していただいた。	実施日:11/17 会場:なちゅら多目的ホール	参加者数:40名

令和元年度事業計画

1 管理運営関係

(1) 開館スケジュールについて

※平成 31・令和元年度飯山市美術館・飯山市伝統産業会館開館予定を参照

◎臨時休館する日

4/12(金)・4/16(火)	春の展示替え(両日ともに日通)
4/30(火)・5/1(水)	祝日法第 3 条 3 項の規定による国民の休日・即位の日
8/27(火)～8/31(土)	木原正徳展開催に伴う展示替え(1 日のみ日通)
11/5(火)・6(水)	木原作品梱包(職員)及び東京都美術館木原作品集荷対応
11/7(木)～11/10(日)	2 泊 3 日で木原作品を山形市内 2 カ所へ返納(業者)
11/12(火)・13(水)	常設展示復帰作業(職員のみで実施)
11/20(水)	常設展示撤収作業(職員のみで実施)
11/21(木)・11/22(金)	信濃美術館移動展作品搬入及び展示(両日ともに日通)
12/10(火)・11(水)	信濃美術館移動展作品撤収(日通)
12/12(木)	常設展示復帰作業(日通)

(2) LED化工事について

内容：美術館と伝統産業会館の照明設備のLED化を行う。

6月中旬から7月末までの期間中の休館日(3～4回)に工事を予定。

2 常設展示

内容：飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に常設展示を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて 60～70 点を展示する。

期間：①平成 31 年 4 月 2 日(火)～令和元年 8 月 25 日(日) ※4 ヶ月間と 23 日
 ※4/13(土)・14(日)は、第 39 回飯山市民芸術祭展示部門の会場として使用。
 ※期間中、2 階ギャラリーとロビーにおいてギャラリー展を開催予定。

②令和元年 11 月 14 日(木)～令和元年 11 月 19 日(火) ※開館日数 5

③令和元年 12 月 13 日(金)～令和 2 年 4 月中旬 ※約 4 ヶ月間
 ※期間中、2 階ギャラリーとロビーにおいて「小橋城写真展」を開催予定。

3 企画展開催事業

(1) 企画展『(木原正徳展 ひとかたち《野に還る》』(9/1 日～11/4 月)を開催。
 ※開催概要(資料 P 7)及び木原正徳略歴(資料 P 8)を参照

(2) 長野県信濃美術館移動展

期間：令和元年11月23日(土)～12月8日(日)

会場：美術館展示室 ※ロビーと2階ギャラリーは使用しない。

内容：信濃美術館所蔵作品による展覧会

初日(11/23)に開会式と信濃美術館学芸員によるギャラリートーク、また、11/30(土)に信濃美術館企画による参加者20～30人規模の講演会を2階ギャラリーで開催予定。

4 ギャラリー展等

方針：市出身やゆかりの有無にこだわらず、市外の作家も積極的に紹介し、施設の有効活用・活性化を図る。

(1) 『信濃日本画院 こぶしの会 30周年記念展』を開催。※終了

期間：平成31年4月17日(水)～5月6日(月・祝)

展示作業4/16午後、撤収作業5/6午後1時

会場：美術館2階ギャラリー及びロビー

内容：市内の登録社会教育認定団体の日本画グループ「こぶしの会」の作品展。
講師と会員あわせて7名の日本画作品28点を展示した。

(2) 『(仮称)小橋城写真展』(12/20～2/16)を開催

期間：平成31年12月20日(金)～令和2年2月16日(日)

会場：美術館2階ギャラリー及びロビー

内容：プロの写真家・小橋城氏(1974～、東京都出身千葉県在住、日本写真芸術専門学校卒業)が長年に亘って撮り続けた鍋倉山の自然の写真を紹介する。
飯山に住んでいてもなかなか見ることが出来ない鍋倉山の美しい景色を市民はじめ飯山を訪れる方々にご覧いただく。

(3) その他

登録社会教育認定団体による作品発表展等

登録社会教育団体から作品発表の会場としてなど利用希望があれば、2020年4月以降の開催で検討することとしたい。

5 ワークショップ・美術教室等

方針：特徴ある美術館づくりを目指して、郷土の伝統工芸である“和紙”と地元の土から作った絵の具を使った絵画制作等のワークショップを継続して取り組む。また、美術家等に協力を仰ぎ、美術を身近に感じ楽しむためのギャラリートークやワークショップを実施する。

(1) 夏休み・春休み体験教室の企画運営

市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の企画立案と運営に関わる予定。

夏休み体験教室：うちわ作り「押して！張って！うちわ」

内容：美術館職員が講師となって、うちわ作りを実施。和紙に飯山の土を使った絵具で模様をつけるなどしたオリジナルのうちわを作る。

対象：小学生1年以上 定員：15名 参加費：300円

春休み体験教室：検討中

(2) 「木原正徳展」及び「信濃美術館移動展」開催中に作家や学芸員によるギャラリートーク、ワークショップを開催できるよう調整中。

6 五郷研修館の活用・県外在住作家との連携

方針：県外在住の芸術家と連携し、美術館活動の活性化に繋げる。

内容：平成14年度から継続。不定期に飯山を訪れて絵画作品などを制作。

研修館を使用している美術家：

○原田卓三（大阪府在住、東京芸術大学大学院修了、独立行政法人造幣局）

○瀬島 匠（東京都在住、武蔵野美術大学卒、東北芸術工科大学准教授）

○内田 寛（絵画、愛知県在住、名古屋芸術大学卒）

○星 晃（日本画 埼玉県生まれ 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒）

令和2年度以降の企画展等開催内容について

令和2年度 (2020)	「正受老人300年遠 諱記念展示」及び「飯 山仏壇の仏師をテー マとした展示」	展示内容は関係者と相談のうえ決定する ことになるが、正受庵宝物や正受庵に関わる 資料を市内の施設や個人から借用展示する ことになる。
令和3年度 (2021)	(内定) 和紙作家・森田千晶展	・飯山市で開催された「和紙の仕事大賞コン ペティション」において大賞(H18)と優秀 賞(H17)を受賞した和紙作家・森田千晶氏 の作品展を開催予定。本人承諾済み。
令和4年度 (2022)	(候補) 佐藤武造展没後50年 記念展	・瑞穂出身の画家・佐藤武造の没後50年 にあたる年であるため、市民からも開催を希望 する要望が寄せられている。

令和5(2023)	岩上隆静没後10年
令和6(2024)	長谷川青澄青澄没後20年
令和7(2025)	
令和8(2026)	小林起一没後20年